KOYAMA FUKUSEI HOSPITAL

かえでの森

Japan Council for Quality Health Care 日本医療機能評価機構

第９３号　　２０２３年　３月　１日

発　行　所／神山復生病院　〒412-0033御殿場市神山109　(TEL)0550-87-0004　(Fax)0550-87-5360
(E-mail)info@fukusei.jp　(ホームページ) https://www.fukusei.jp/

《 理　　念 》

神山復生病院は　キリストの愛に基づいて　病める人も健やかな人も　神によって創られた人間として
喜びも苦しみも共にしながら　一人ひとりの命を大切にし　希望をもって医療と福祉に献身します

訪問看護ステーションマリア

訪問看護ステーションマリア　仲道由美子

季節は雨水が過ぎ、啓蟄をむかえる頃となりました。3 月は年度のまとめや新たなスタートに向けて準備を行う月です。

訪問看護ステーションマリアは開設して 6 年が過ぎ、たくさんの患者さんに訪問看護サービスの提供をさせていただきました。そして患者さんやご家族の方、お一人おひとりから多くのことを学ばせていただきました。

患者さんやご家族の方とお話をして感じることは、訪問看護がまだまだ地域の皆様に知られていない、という事です。また、知っているがどのように依頼をしたらよいのかわからない、と言うお声も多く聞かれました。訪問看護ステーションマリアは開設して 6 年が経過しましたが、そのようなお声を伺うたびに「まだまだ広報活動が足りないな！」と言うことを実感しています。地域の皆様のお役に立てるように、訪問看護ステーションマリアとして大切にしている、病院の理念や、訪問看護に対する思い、をケアの中で確実に実践し、その結果として、少しずつでも訪問看護が地域の皆様に必要とされるようになれば、こんなに幸せなことはありません。

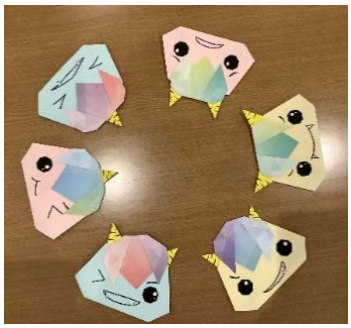
今世の中は、戦争や大きな災害、コロナとの共生や物価の高騰など、様々な問題が私達の生活に何かしらの影響を及ぼしております。ましてや、病気を抱えてご自宅で生活されている患者さんやご家族の方には、それらの問題が更に大きく影響していると感じています。そのような中で私たちができることは、本当に限られてはおりますが、私達の強みは、スタッフ全員で知恵を出し合い、患者さんのために全力投球するところです。これからも、訪問看護ステーションマリアの強みを伸ばし、地域の皆様に必要とされるように頑張っていく所存です。どうぞ、よろしくお願い致します。

節分行事

ホスピス病棟

ホスピス病棟　井林未記

２月３日　ホスピス病棟でこぢんまりと節分のイベントを行いました。中原先生を先頭に鬼のお面をつけたスタッフが「がおーっ」とお部屋に突撃しますが、かわいいお面だったので笑顔で迎えて頂きました。「鬼は外！」と豆に見立てたボールを投げて鬼は退散…と思いきや患者さんも鬼のお面をつけて記念撮影☆　鬼も笑顔に変えて、たくさんの福が訪れることを願います。



介護医療院

介護医療院　小澤一代

介護医療院では、コロナ禍でありながらも、患者さんが節目を感じられるように、レクリエーションを企画し開催しており、今回は節分ということで、豆まきを行いました。
鬼に扮した職員が現れ、患者さんには豆に見立てたボールを「鬼は外、福は内」と声をだして投げていただきました。患者様も子供の頃を思い出されたのか、とても楽しそうに豆まきをされていました。今年もたくさんの笑顔のおかげで福があふれていました。

マリアの家

マリアの家　小野結香

２月３日節分の日。マリアの家では「無病息災」を願い、職員が工夫を凝らした鬼に扮し豆まきを行いました。
鬼が登場すると、驚く方、怖がる方、「あれは誰？」と首をかしげる方など色々な反応があり「キャーキャー」と盛り上がりました。「鬼は外、福は内」の元気な掛け声と共に、新聞紙を丸めて作った大きな豆を投げ、無事に鬼を追い払うことができました。
その後には、利用者の皆様が「今年一年も健康で過ごせますように」と願いながら恵方巻に見立てたロールケーキをいただきました。

遺族ケアの取り組み

ホスピス病棟

ホスピス病棟　桑原梨詠

ミサや茶話会が行えなくなって 3 年目の遺族ケアの時期を迎えました。今年度もご遺族の方にお手紙をお出しし、大切な方へのメッセージを返信して頂きました。頂いたメッセージカードには大切な方への思いがあふれており、読みながら患者さんと過ごした日々を懐かしく思い出しました。手紙のやりとりでも、患者さんやそのご家族に思いを馳せることはできますが、やはり顔を合わせてお話をしたいという気持は年々強くなってきています。2 月からホスピスではご遺族を対象とした「おしゃべり広場」を隔月で開催しています。お時間が合えばぜひお立ち寄りください。

介護医療院

介護医療院　加藤健児

本年度介護医療院では、12 名の利用者様がお看取りとなりました。ご遺族様と病棟スタッフとの手紙でのやり取りをさせていただき、天国へと旅立たれた利用者様の優しい笑顔が胸によみがえってきました。
ご遺族様からのメッセージカードには、故人への感謝の気持ちや在りし日の想い出などが綴られており、スタッフも共に過ごしてきた時間を思い出し温かな気持ちになりました。
神様のもとに居る大切な方々に、このメッセージがきっと届きますように心を込めて掲示させて頂きました。

訪看マリア

訪看マリア　桐生彩花

訪問看護ステーションマリアはお看取りした後、1～2 か月の間で訪問させていただいております。私たちスタッフもお看取りの後は、心にぽっかりと穴があいたように寂しくなります。
一生懸命に介護をし、ご利用者様を支えていたご家族と療養中の楽しかった思い出や、後悔していることなどを振り返り、思いを共有しています。
終了してから何年か経ち、会いに行くことが難しくなった方たちからも、お電話をいただくことがあり、私たちの心の支えになっています。11 月に送らせていただいた手紙のお返事も、心を寄せながら読ませていただきました。寂しい気持ち、辛い気持ちを抱えながらも、最後には前向きな『見守ってて ね』や『頑張るよ』が綴られていました。悲しみが癒えることはありませんが忘れずに心に留め、日々のケアに繋げていけるよう私たちも頑張っていきます。

マリアの家

マリアの家　大石美幸

2021 年 9 月、他の医療機関に骨折で入院されていた利用者様が退院されるということで、ご家族の方はご自宅での生活に不安があり、マリアの家のサービスである通いと泊り、訪問介護の利用を開始しました。
ご自宅への送迎時、ベッドから車いすへの移乗等では、玄関から車までの石畳の道を、ジュータンを敷くなど工夫しながら移動しました。マリアの家では、穏やかに過ごされ、時には冗談を言って、他の利用者様を和ませていました。いつも笑顔で職員にいつも感謝の言葉を伝えてくれる方でした。ご自宅でも奥様から、分からないことや不安な時など、いつでも連絡を頂き、情報を共有して奥様が不安にならないように心がけていきました。そんな中、3 か月ほど経った年明けから少しずつ食事も困難になり、点滴が開始されマリアの家で泊まる日が多くなりました。最期は奥様も一緒に泊まり、奥様のもとで安らかに眠りました。

外 来 担 当 表

緩和ケア外来は予約制

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午 前	内科（中原）	内科（北村）	内科（若杉） 皮膚科	内科（江藤）	内科（江藤）	内科 （第 1. 3. 4 中尾） （第 2. 5 岡部） 皮膚科	休　診
午 後	休　診	休　診	緩和ケア外来 （江藤・中原）	休　診	休　診	休　診	

コロナウイルスワクチンの接種の予約承っております。

皮膚科外来予定表

4月以降の診察は HP にてお知らせいたします。
もしくは、お電話にてお問い合わせ下さい。

太田有史　医師	３月　　４日（土）
村松海人　医師	３月　１１日（土）
太田真由美医師	３月　１８日（土）
福地　修　医師	３月　２５日（土）
石地尚興　医師	３月　　１日（水）・　　８日（水）・　２２（水）
坂田早苗　医師	３月　１５日（水）・　２９日（水）

皮膚科外来は、毎週水曜日と土曜日の午前に行っています。

今回のおすすめ

「甘―い♡クレープ自販機」

裾野市役所の南西約４００m。黄瀬川に架かる花園橋のたもとに、ビューティーチェリーというお店があり、その目の前にある自動販売機には、様々な種類のクレープや、裾野のキャラクターすそのんのクッキーが並んでいます。メインのクレープは 300 円程で購入でき、小振りですが、美味しく手軽に楽しめるので子供から大人まで人気です♪ぜひ、お試し下さい。

紹介者　（外来）　高橋諒子

編集後記

先日、友人とまだ２分咲きの河津桜を見に行きました。今年はさくら祭りが開催されるそうで、せっせと出店の準備をするひと、膨らみつつあるつぼみを見上げながら笑顔で散歩するひと。あたりまえだった『日常』の復活に胸膨らませているように見受けられました。

各地でもコロナで中止されていたイベントが少しずつ再開されていき、この５月には感染分類が５類に引下げられるとか。寒い冬を耐えて咲き出す花たち。

『冬来たりなば春遠からじ』この広報をお手元にして下さっている頃はあちこちの桜も満開と思います。皆さまにも笑顔の花が咲きますように…次号もお楽しみに～！

さ